

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 17 日現在

機関番号：22701

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2010～2013

課題番号：22330079

研究課題名(和文) 持続可能な地域医療システム構築に必要な資源再配分と費用便益構造の研究

研究課題名(英文) Study on the resource allocation and cost benefit structure in order for establishing sustainable healthcare system

研究代表者

安川 文朗 (Yasukawa, Fumiaki)

横浜市立大学・その他の研究科・教授

研究者番号：90301845

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,600,000円、(間接経費) 3,780,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、持続可能な地域医療の制度設計が地域住民や医療提供体制にもたらす成果や便益について、定量的な分析を行った。その結果、1)地域高齢者の地域医療政策や制度への意識や評価を分析したところ、高齢者は医療の利便性や質が担保されれば、進んで地域医療改革のコストを負担する意識があること、2)海外及び国内調査等から、医療人的資源の不足を補い地域医療提供を効果的に行ううえで、専門看護師の役割が重要であること、3)周産期医療施設の集約化の社会経済的影響を、北海道を対象として需給両サイドから分析した結果、地域住民の満足はある程度高まったが、集約化施設もサテライト施設も費用が増加していること、が示された。

研究成果の概要(英文)：In this research I conducted empirical analysis to assess whether outcomes might be brought by designing sustainable healthcare resource setting and contributed on improvement of peapoles' well-being.

As results, 1)through the questionnaire survey, it was found that elderly people have highly recognized the progress of healthcare policy in the future, and have strong willingness to burden the costs of healthcare reform when it would be satisfied the quality of care; 2)it was implicated that, by researching home visit care for younger cancer patients, clinical nurse specialists may take critical role of making up the shortage of health profession in region and encouraging effective health provisions; 3) by demand-supply analysis on the social impacts of the consolidation policy of perinatal care facilities in Hokkaido, it was indicated that, while some increase of residents' satisfaction obtained, both consolidated facility and satellite ones face the hospital costs inflation.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学 応用経済学

キーワード：地域医療 プライマリケア 医療資源配置 支払い意志 便益 集約化

1. 研究開始当初の背景

少子高齢社会における医療財源のひっ迫と医療技術の高度化、および住民の健康意識の高まりによって、わが国の医療は質の高い、かつ経済的にも効率的な医療提供体制を再構築することが急務となっている。特に高齢化が今後も進み、その後人口減少社会へと転換していくことが明らかであるため、これまでのように安定的な財源獲得に裏付けられた医療提供は不可能であり、持続可能性を担保しつつ、かつ人々にとって必要な医療をきめ細かく提供するという困難な課題が突きつけられている。こうした課題に対して、地域における医療機関の機能の分化や連携、医療人材の再配置などが検討されてきたが、そのような医療提供体制からの様々な検討が、地域住民自身の希望する受診形態や嗜好をどの程度満足させているか、また医療提供体制の改変による医療提供者自身の費用構造や便益の状況はどのように変化したのかについては、これまで直観的な議論はされてきても、定量的な分析による検討と議論は必ずしも十分なされてこなかった。

2. 研究の目的

上記の背景をふまえ、地域を単位とした医療提供体制において、どのような制度設計を展開すべきか、そのためにどのようなコスト負担が生じるか、そのコストに見合った便益をどのように人々が享受できるか、といった基本的な課題を、地域住民や医療機関の個別のデータを収集しそれを定性的・定量的に議論するための分析を行うこととした。具体的には、まず地域住民が感じている「地域医療システム」の課題を、住民自身の受診行動と合わせて抽出し、その再編のための医療資源の再配分のあり方を検討するとともに、それによって現実の地域住民や地域医療資源にとっての便益はどのように変化するかを、同じく個票ベースでのデータ収集を中心として定性的及び定量的に明らかにすること、また単に問題の把握だけでなく、その問題をできるだけ緩和し、地域住民の生活の質(QOL)の向上につなげるような具体的な方策の提案もあわせておこなうこと、を本研究の目的とした。

3. 研究の方法

本研究では、地域医療の対象たる地域住民、特に高齢者やがんなどの顕在化した患者、および周産期医療など潜在的な医療資源の利用者が認識する現状の医療制度上の課題についての、聞き取り調査や独自のアンケート調査による把握と整理、そしてそれらの人々にとって望ましい医療制度の在り方と、そのために人々がどの程度積極的に費用便益を意識して貢献したいと考えるかについての定性的定量的分析、さらに、地域医療における資源の再配分を実行した場合に地域住民および医療機関にとっての便益構造はどの

ように変わるのかについての、定量的検討を行った。具体的には1)地域住民特に高齢者の医療制度への意識とこれからの医療制度設計に関する貢献意欲、また自身の健康に問題が生じた場合の受診行動(受診医療機関の選択や治療方法の選択)について、医療制度への評価と、より望ましい医療制度設計に対するコスト負担の意志に関する「WTP」を用いた調査・分析、医療機関受診の決定要因とその背景に関する回帰分析、さらに受診地域の選択に関する診療圏間の移動の実態とその理由に関する統計的検討、を厚生労働省の公表データおよび独自のインターネット調査によって得られたデータ分析から検討した。また2)地域医療の推進に必要な人的資源の開発や配置について、がんの術後若年患者のケア実態について、カナダ・アルバータ州エドモントンでの訪問調査と、日本の訪問専門看護師および患者会への聞き取り調査から得られた情報を用いて、定性的に検討した。さらに、3)地域における医師不足によるサービス提供体制の格差の是正と医療費の効率化を目指した「施設集約化」策の有効性について、実際に周産期医療システム再編による施設集約化を経験した北海道の2つの診療圏を対象として、分娩施設の集約化の前後での、地域住民(妊産婦)の制度的利便性や安心に関する意識の変化、および集約前後での関連医療機関の医療費構造の変化について、ウェブを使った調査および公営病院の財務データを用いて定量的に分析をおこなった。

4. 研究成果

1)地域住民の医療制度に対する意識と、受診行動について：地域住民の地域医療に対する意識は、居住地域を中心としたプライマリケアの範囲で、自分が最も利便性が高いと思われる受診行動を選択する傾向がある。すなわち、都市部においては居住地に近い医療機関を受診する傾向が、また高い評判の医療機関では診療圏を超えて医療機関を選ぶ傾向が見られる。しかし、高齢者では、巷間言われるような「大病院」ばかり受診する傾向はみられず、むしろ地域のかかりつけ医との信頼関係を重要視する傾向がみられる。また、長寿医療制度で問題となった、高齢者の医療制度へのネガティブな意識は実際にはそれほどのものでなく、むしろ、相応の費用負担を進んで行う意志を強くもっていることも明らかになった。ただし彼らは、現行医療制度が、医療費の増高にもかかわらずそれほど質や利便性の面で向上していないことを問題視していることが明らかになった。いっぽうで、医療機関選択における地域間移動の多寡についての定量的検討から、高齢者を含む地域住民が、評判の高い医療機関や規模の大きな医療機関により受診を希望しているという一般的な理解に反して、かなり多くの

住民は、自身が患者となった場合、自分の病状を勘案して比較的近医での受診を選択することが多く、その意味で需要側の医療アクセスは必ずしも非効率ではない可能性が指摘された。2)地域医療の推進における人的資源の活用の方針について：日本およびカナダでの訪問、聞き取り調査から、地域における若年がん患者の在宅ケアを行い、患者のQOLを高めるためには、医療人的資源の不足を補い地域医療提供を効果的に行ううえで、がんの専門看護師の役割が重要であること、また同時に、社会生活上のリスクを取り除くという看護ケアの視点から、患者の生活困難を考慮したQOL指標の開発が必要であることが示された。3)施設集約化などの医療提供体制改変における地域住民や医療機関の便益の変化の有無について：北海道空知地区、および釧路地区における周産期医療施設の集約化（＝医師の配置の集約化）の前後両方の期間で出産や育児の経験のある女性を対象として、集約化前後での受診の利便性、安全性、費用負担の変化などについて分析を行った結果、施設集約化は地域住民（妊産婦等）の医療態勢における安心感のある程度高め、また前後で費用負担の増加はほとんど認識されていないことが確認された。その一方で、同じく集約化前後での集約先施設および集約元施設（サテライト施設）の費用構造の変化を「公営企業年鑑」の財務データを用いて分析した結果、集約先医療機関での患者1人当たり医療費および医業費用の増加のみならず、本来費用効率の改善を期待された集約元の医療機関でも、施設規模あたりの費用の増加が確認され。このことから、施設集約化は地域住民にとっては一定の便益改善効果があるが、医療提供側の便益については一概に効率化を促進すると断定できない可能性があり、今後さらに検討すべき課題があることがわかった。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計 3件)

1. 安川文朗(2012): 地域医療研究の社会経済的視座 医学モデルから生活・人間モデルへの転換、熊本大学社会文化科学研究第10号、33-48
2. Fumiaki Yasukawa(2012): Essay on the Economic Outcome of Medical Simulation Education : How to Think and Evaluate, *International Journal of Social and Cultural Studies*V, 1-11
3. 安川文朗(2013): 専門化のゆくえと医療の未来、日本医療・病院管理学会誌50(2)、1

〔学会発表〕(計 3件)

1. Miho Sekimoto, Fumiaki Yasukawa : Determinants of patient movement beyond

the medical regions, Health Systems Reform in Asia: Equity, Governance and Social Impact, Singapore, 2013

2. Fumiaki Yasukawa: Consolidation of perinatal care resources in Japanese regional care ~Demand side influences and political implications~, 2nd China-Japan Health Economics and Policy Research Workshop, National University of Singapore, 2014.
3. Fumiko Yuki, Fumiaki Yasukawa: How to understand the social problem in younger cancer patients, 2nd China-Japan Health Economics and Policy Research Workshop, National University of Singapore, 2014

〔図書〕(計 1件)

- 1 安川文朗、石原明子(編)『現代社会と紛争解決学』ナカニシヤ出版、2014
「医療制度設計のコンフリクトマネジメント」pp175-197

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

安川文朗 (56)

横浜市立大学・国際総合科学部・教授

研究者番号: 90301845

(2) 研究分担者

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

関本美穂 (50)

福島県立医科大学特別研究員

(元京都大学大学院医学研究科)

研究者番号：00244583